1. 特定本邦航空運送事業者(※)に関する航空輸送サービス に係る情報公開(平成29年7~9月)のポイント

○スターフライヤー: SFJ

○バニラ・エア: VNL

○Peach·Aviation:APJ ○ジェットスター・ジャパン:JJP

○春秋航空日本: SJ0

※特定本邦事業者

○日本航空:JAL(日本航空、ジェイエア、北海道エアシステム)

○全日本空輸: ANA (全日本空輸、ANAウイングス)

○日本トランスオーシャン航空:JTA

びジェイエアとの共同引受を開始

○スカイマーク:SKY ○AIRDO:ADO

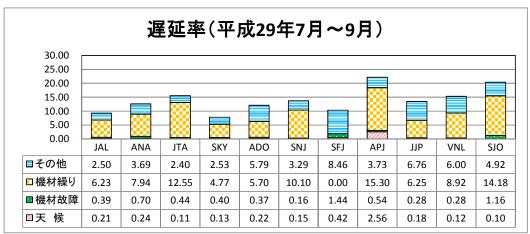
○///// x7: SNJ ○/ラシドエ7: SNJ ※北海道エアシステムは平成28年10月30日から日本航空及

1. 輸送サービスの比較等に関する情報

(1) 遅延率(平成29年7月~9月)

当期実績	前年度同期実績	前年度同期との比較
11. 64%	11. 33%	0. 31ポイント上昇

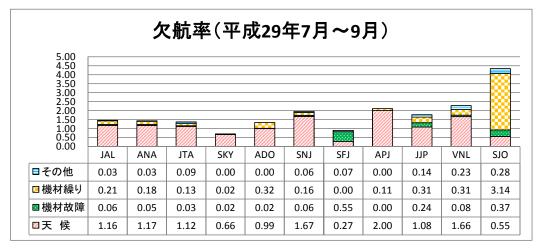
※「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎·季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

(2) 欠航率(平成29年7月~9月)

当期実績	前年度同期実績	前年度同期との比較
1. 44%	1. 05%	0.39ポイント上昇



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

2. 運賃関連情報

(1)輸送実績(平成29年7月~9月)

項目	当期実績	前年度同期実績	前年度同期との比較
平均搭乗区間距離	945km	946km	0.11%減
輸送人員	2703万7579人	2570万6736人	5. 18%増
輸送人キロ	255億5315万人km	243億2891万人km	5. 03%増
旅客収入	4144億45百万円	3984億33百万円	4. 02%増
輸送人員あたり 旅客収入	15. 3千円	15. 5千円	1. 29%減
輸送人キロあたり 旅客収入	16. 2円	16. 4円	1. 22%減

(2)路線別データ(平成29年7月~9月)

①旅客数

〈合奴		
上位5路線は次のとおり。		
	当期実績	前年度同期実績
1位 東京=札幌	250万4357人	(253万0564人)
2位 東京=福岡	216万3538人	(206万0859人)
3位 東京=那覇	168万2245人	(157万2643人)
4位 東京=大阪	137万6403人	(130万5677人)
5位 東京=鹿児島	63万8076人	(62万5837人)
全路線	2669万9019人	(2537万8744人)

②利用率

上位5路線は次のとおり。

下位5路線は次のとおり。

1位 関西=仙台	92. 2% (89. 6%)	1位 宮古=石垣	22. 8% (23. 8%)
2位 東京=宮古	90. 6% (87. 2%)	2位 関西=旭川	38. 3% (46. 0%)
3位 関西=宮崎	90. 0% (85. 3%)	3位 札幌=釧路	49. 1% (50. 0%)
4位 関西=鹿児島	89. 5% (85. 7%)	4位 福岡=徳島	49. 2% (52. 4%)
5位 成田=松山	89. 4% (88. 8%)	5位 函館=奥尻	49. 7% (-)
	75. 8% (72. 7%)	全 路 線	75. 8% (72. 7%)

3. フレックストラベラー制度(※)に関する情報

平成29年7~9月における、フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの 全輸送人員に対する不足座席数の割合(1万人あたり)が高かった特定本邦上位3社は次のとお

		全輸送人員に対する不足座席数の割合 (1万人あたり)	
		当期実績	前期実績
1	AIRDO	3. 38人	2. 80人
2	スターフライヤー	2. 35人	5. 22人
3	ソラシドエア	1. 92人	1. 40人
	全社平均	1. 30人	1. 43人

※今回の公開項目の詳細、及び過去の公開資料につきましては、国土交通省のホーム ページ上にてご確認頂けます。

(URL)http://www.mlit.go.jp/koku/15_bf_000727.html